

東通村原子力発電所安全対策委員会開催

～ 安全協定の運用・原子力防災の取組の状況などを報告 ～



越善村長挨拶

3月17日(火)、東通村防災センターにおいて、東通村原子力発電所安全対策委員会が開催されました。
この委員会は、村内の関係機関の長等により構成されており、原子力発電所の状況の報告や確認などを行うとともに、ご意見などを伺い、村として、様々な対応をしていくため設置しているものです。
会議では、越善村長の挨拶の後、村から、東通原子力発電所東北電力1号機の安全協定の運用状況、原子力防災の取組状況や今後の計画、原子力防災訓練の実施状況、原子力災害医療の検討状況などを報告しました。



会議の風景

委員から、安定ヨウ素剤の事前配布における乳幼児への配布率の向上対策、商用電源停止時における住民への情報伝達方法、原子力災害医療関係者に対する教育対策などについてご意見等がありました。
また、東北電力(株)及び東京電力ホールディングス(株)から、それぞれの状況について説明がありました。
委員より、東北1号機の審査の進捗状況、東京1号機の共同事業化に向けた検討状況などについてご質問等があり、事業者よりそれぞれ回答がありました。
東北電力1号機は、原子力



東北電力(株)・東京電力HD(株)の状況説明

規制委員会の新規制基準適合性に係る審査が継続中です。
また、東京電力1号機は、一部の作業を除き、工事の再開を見合わせていますが、新規制基準適合性に係る審査に向けて、地質調査や設計検討等を行っている状況です。
福島第一原子力発電所事故から9年が経過しましたが、国・県・事業者においては、引き続き、原子力防災対策や安全対策について、様々な検討が進められています。
村としても、これらの状況を踏まえ、今後も、村民の安全と安心のため、全力で取り組んでまいります。

子どもたちの環境・エネルギー教育のために図書寄贈



電気記念日

1878年3月25日に、東京の工部大学校で開催された、電信中央局開局の祝賀会において、日本で電灯が公の場で始めて点灯されました。これを記念するため、1927年に開催された日本電気協会の総会において3月25日が「電気記念日」と定められました。

3月30日(月)、東北電力(株)東通原子力発電所(鶴田真孝所長)から、東通小・中学校を対象としたエネルギー・環境関係図書が東通村へ寄贈されました。
同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書や環境・エネルギーに関する教育副教材を寄贈しています。43回目となった今回は、エネルギー・環境関係図書計164冊を寄贈いただきました。
今回の図書を含め、これまで寄贈いただきました図書・教育副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。